



自衛隊栃木地方協力本部

大学生を対象としたインターンシップ



横須賀基地研修（1日目）



武山駐屯地研修（2日目）

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、8月19日（火）・20日（水）栃木県内等の大学生11名を深澤2陸尉、柿沼事務官、東泉1海曹が引率し、神奈川県にある横須賀基地及び武山駐屯地においてインターンシップを実施した。

1日目の横須賀基地では、海上自衛隊の概要説明、体験喫食、艦艇見学、隊員との懇談が実施され、参加者は海上自衛隊の理解を促進し、隊員懇談においては参加者が積極的に質問して疑問を解消できた。

2日目の武山駐屯地では、31普通科連隊長による講話、陸上自衛隊の概要説明、伝言ゲーム・間違え探し及び集団討議の体験型学習、体験喫食、武山駐屯地資料館の見学が実施され、参加者は陸上自衛隊の理解を促進し、講話により大学生の求められる人物像や体験型学習により問題解決方法を学ぶことが出来た。今回の2日間のインターンシップを通して、自衛隊を職業の選択肢の一つとして認知してもらうとともに、大学生に求められている人材を理解してもらうことにより今後の就職活動の資としてもらえると感じた。

栃木地本は、「今後も大学生等のフォローを継続し、自衛隊の認知向上と志願者増を図っていく」としている。

栃木県任期制隊員合同企業説明会

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、8月22日（金）、宇都宮市宮みらいのライトキューブ宇都宮において「令和7年度栃木県任期制隊員合同企業説明会」を実施した。

本説明会は栃木県内に再就職を希望する任期制隊員の円滑な再就職準備に向けて例年8月に開催しているもので、今年度は参加する任期制隊員が8名と少数であり、その旨を事前に参加企業等に通知していたが、栃木県内に所在する企業63社のほか、関東管区警察局栃木県情報通信部、埼玉県警及び塩谷広域行政消防の官公庁3団体と多くの企業等が参加した。このことから、企業等が抱く任期制隊員への期待の高さの一端がうかがえるといえる。

説明会は、任期制隊員8名からの自衛官らしい節度ある所作での自己紹介で始まり、各人は希望企業や興味のある職種や企業等ブースに向き、真剣な面持ちで説明を受けるとともに積極的に質問するなどしてそれぞれ再就職に対する不安の除去と退職後の将来に向けたイメージアップに繋がった。参加企業からは、「少人数であるものの魅力的な人材が揃っており、是非採用につなげていきたい」という声を多数得ることができた。

また、県内の進路指導を担当する学校教諭3名を説明会会場に招待し、退職後の充実した再就職支援施策等、任期制自衛官の有利性を説明し、各校の生徒達に自衛官という就職先の魅力を伝えてもらうよう、理解を深めてもらうことができた。

栃木地本は「今後も、地本に与えられた各種目標達成のため、援護、募集、広報等が一丸となってあらゆる機会を活用し相乗効果を図りつつ目標達成に向け全力で邁進していく」としている。



自己紹介形式で挨拶する任期制隊員



真剣な面持ちで企業説明を受ける参加隊員



学校職員への説明の状況